

「誰かの力に」その思いが原動力～挑み続けた10年、それぞれの思い～
日本相撲協会 八角理事長 × HIROTSU バイオサイエンス代表取締役 CEO 広津 崇亮
特別対談を公開



株式会社 HIROTSU バイオサイエンス（本社：東京都千代田区、代表取締役 CEO：広津 崇亮）は、公益財団法人日本相撲協会 理事長 八角信芳氏との特別対談を本日から当社ホームページにて公開いたしました。

この対談は、「N-NOSE®」発明から10年、そして八角氏の理事長就任10周年という節目を記念して実現したものです。

HIROTSU バイオサイエンスは、2022年9月から日本相撲協会のオフィシャルパートナーとして、協会員およびそのご家族の希望者に対し、がんのリスク検査「N-NOSE®」を年1回無償で提供してきました。国技を支える力士たちの健康を、縁の下から守る取り組みとして続けてきたこの活動。その背景には、相撲と科学という異なる舞台でありながら、同じ「人のために挑み続ける」という姿勢が共通しています。

今回の対談では、八角理事長と当社代表取締役 CEO 広津が、この10年の歩みを振り返りながら、それぞれの現場で培ってきた思いを語り合いました。

八角理事長は、「自分は主役じゃないんです。後輩たちが主役になっていくために苦勞をさせないよう、今やるべきことを命を懸けてやっています」と語り、相撲界を未来につなぐ覚悟をにじませます。「もし、「自分たちだけ良ければいい」という気持ちでいたなら、相撲協会は百年もの長きにわたり続いてこなかったでしょう」と続け、その言葉には伝統を背負う責任感と次代へのまなざしが込められていました。

また、「N-NOSE®」についても深い関心を示し、「少しでも早く（がんが）見つかっていれば助かった命があると思います。この検査が広がることで、多くの人を救えるはず。がんで亡くなる人をゼロにする——そんな志を持ち続けてほしいですね」と、生命に寄り添う技術への期待とエールを送りました。

近年、同検査では自宅で検体を採取し、ポストに投函するだけで検査ができる常温サービスが開始しています。理事長はこの新しい仕組みにも「全国どこにでもあるポストで完結できるのは本当に便利です」と笑顔を見せ、より多くの人に受け入れられる検査としての可能性に共感されていました。

対談ページ URL <https://hbio.jp/taidan/>

■HIROTSU バイオサイエンスについて

生物の能力を活かした独自の検査技術の研究開発と実用化を通じて「人々の健康と未来の安心を守ること」を目指しています。2016年に設立し、研究者の豊かな発想とたゆまぬ努力で、N-NOSEが実用化されました。人生100年時代、健康寿命の延伸が重要視される一方で、2人に1人ががんに罹患すると言われていています。こうした社会的課題の解決に、人工機器を凌駕する線虫の優れた嗅覚の力を活用した世界初の画期的な技術をもって貢献いたします。

所在地	東京都千代田区紀尾井町 4-1 ニューオータニガーデンコート 22 階
代表者名	代表取締役 CEO 広津 崇亮
設立年月	2016 年 8 月
主な事業内容	線虫および線虫嗅覚センサーを利用したがん検査の研究・開発・販売
コーポレートサイト	https://hbio.jp/

■「N-NOSE」について

嗅覚に非常に優れた線虫 *C. elegans* が、人の尿中に含まれるがん特有の匂いを高精度に検知することを利用した、がんのリスク検査。尿を提出するだけで、簡便・安価・高精度・全身網羅的に早期がんリスクを調べることが可能です。

サービスサイト：<https://lp.n-nose.com/>

報道関係者お問合わせ先

株式会社 HIROTSU バイオサイエンス 広報事務局
(株式会社サニーサイドアップ内)

Mail : hbio@ssu.co.jp